

00 凡 例

アイヌ語の読み書き

①本書のアイヌ語は、カタカナ表記とローマ字表記としました。

※母音で終わる音

ア	a	イ	i	ウ	u	エ	e	オ	o
カ	ka	キ	ki	ク	ku	ケ	ke	コ	ko
サ	sa	シ	si	ス	su	セ	se	ソ	so
タ	ta			トゥ	tu	テ	te	ト	to
チャ	ca	チ	ci	チュ	cu	チェ	ce	チヨ	co
ナ	na	ニ	ni	ヌ	nu	ネ	ne	ノ	no
ハ	ha	ヒ	hi	フ	hu	ヘ	he	ホ	ho
パ	pa	ピ	pi	プ	pu	ペ	pe	ポ	po
マ	ma	ミ	mi	ム	mu	メ	me	モ	mo
ヤ	ya			ユ	yu	イエ	ye	ヨ	yo
ラ	ra	リ	ri	ル	ru	レ	re	ロ	ro
ワ	wa					ウェ	we	ウォ	wo

※子音で終わる（後ろに母音が続かない）音

プ	p	ツ	t	ク	k	ム	m	ン	n
シ	s	-ラ,-リ,-ル,-レ,-ロ	r,	イ	-y	ウ	-w		

・単語を分割したときの区切りの印

②小さいブック

日本語話者にはなじみのない発音です。日本語の「さっぱり」という言葉を使うつもりで「ぱり」を言わず「ぱ」の手前で止めると、アイヌ語のサパになります。

「さっと」という言葉を使うつもりで「と」の手前で止めると、アイヌ語のサツになります。

「さっき」という言葉を使うつもりで「き」の手前で止めると、アイヌ語のサクになります。

いろいろ例を挙げますので、耳慣らしをしてください。

サプ	sap	前に出る	サッ	sat	乾く
サク	sak	夏	ユク	yuk	鹿
チカプ	cikap	鳥	ペッ	pet	川
チェブ	cep	魚			

③小さいシ大きいシ

小さいシは母音がなく、息がぬけるような音で、シに聞こえたりスに聞こえたりもしますが、シに統一して表記します。大きいシは、はっきり母音を発音します。

④小さいラ、リ、ル、レ、ロと大きいラリルレロ

小さいラ、リ、ル、レ、ロで書かれる音は、舌を軽くはじく音で、弱く短く発音します。大きいラリルレロで書かれる音は母音をはっきりと発音します。

ケレ	ker	靴	ケレ	kere	触る
エトロ	etor	鼻汁	エトロ	etoro	いびきをかく
キサラ	kisar	耳	クキサラ	ku・kisara	私の耳

⑤トゥ tu の読み方は「トゥナイト」の「トゥ」と同じような発音です。

⑥イエ ye の読み方は「イェスタディ」の「イェ」と同じような発音です。

⑦ウェ we の読み方は「ウェールズ」の「ウェ」と同じような発音です。

⑧アイヌ語名称について

この教本では、P21～P64まで動植物の名称に日本語名称およびアイヌ語名称を記した箇所があります。動植物のアイヌ語名称には方言による違いがあり、同じ地域のなかでも同じものを異なる名称で呼ぶことがあります。ここでは、北海道と樺太と千島での代表的な名称を併記しました。

それぞれの名称は「/」で区切り、樺太方言による名称には、下線を付してあります。千島方言による名称には、二重下線を付してあります。

[例]

オオウバユリ / (アイヌ語名称: トウレ^ノ / キウ^ノ / エラパシ^ノ / ハル^ノ)

「トウレ^ノ」は北海道方言。「キウ^ノ」・「エラパシ^ノ」は樺太方言。「ハル^ノ」は千島方言。

・本書におけるアイヌ語表記は、北海道ウタリ協会（現：北海道アイヌ協会）『アコロイタク アイヌ語テキスト1』（1994）にほぼ準拠しています。

・上記以外の参考文献は、項目の最後に記載しています。